岩盤ボーリング柱状図

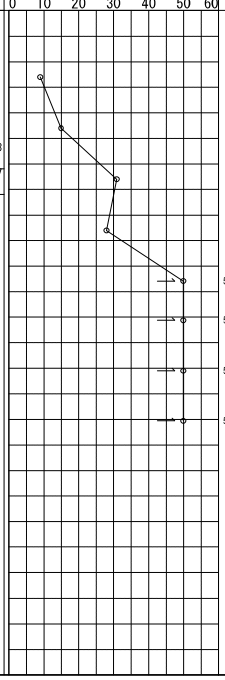
調査名	砂防指定地内河川　天楽川1号　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	No.5	調査位置	広島県三次市作木町下作木	北緯	34° 52′ 01.8100″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和4年 4月26日～ 令和4年 4月28日	東経	132° 43′ 16.3800″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 158.87m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	8.00m	地盤勾配	50° 鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-1型
				エンジン	ヤンマーディゼルNFD-12
				ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1	157.27	1.60		礫混り砂質土	褐							[0] (100)	細砂でシルト分を含有する。 φ2～30mm程度の角礫を混入する。GL-0.9mに100mm礫が混ざる。	
2	155.87	3.00		強風化流紋岩	褐	w5	h3	E	Ⅶ	d	D	[0] (100)	強風化し、コアは細砂状で細礫が混じる。 指圧で潰れ、礫・シルト混じり砂状となる。	4/28 3.10 4/27 3.60
3	154.17	4.70		風化流紋岩	褐灰			D	Ⅵ		D	0[0] (100)	風化し土砂状～礫状コアとなる。 全体に褐色に変色し、一部青灰色の岩片状コアがみられる。	
5	152.87	6.00		流紋岩	暗褐～褐灰	w4	h3	D	Ⅴ	c	CL	5[0] (95)	主に角礫状となる。 GL-5.7m付近に3～5cm程度の短柱状コアとなる。	
7	150.87	8.00			淡青灰	w3	h2	C	Ⅳ	c	CL	5[0] (95) 15[15] (95)	岩心は硬く、コアは礫状～淡柱状となる。 キレツが多く存在、コアが角礫状となる。 キレツ面は褐色に変色している。 孔壁の崩壊が認められる。	

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	9		
	1.45	300		
15	2.15	15		
	2.45	300		
31	3.15	31		
	3.45	300		
28	4.15	28		
	4.45	300		
50以上	5.15	50	280	
	5.43	280		
50以上	6.00	50	120	
	6.12	120		
50以上	7.00	50	100	
	7.10	100		
50以上	8.00	50	50	
	8.05	50		

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		4/25	3	86/ケーシング	S/MC					
			3	66/ケーシング	S/MC	0	60	0	WJ 0	0
		4/26	1		HW/DI	1	100			
			1					0	W4 5	4
		4/27	0			0	100			
			0	66	HWDI			0	W4 4	3
		4/28								